

報告事項 3

市民参加型プラットフォーム（SNS）について

令和7年10月22日提出

東広島市地域公共交通会議
会長 塚井 誠人

1 報告概要

令和7年1月から運用を開始した東広島市地域公共交通会議公式 SNS について、これまでの投稿実績及び反響などを報告するとともに、今後の運用方針について説明を行うものである。

2 市民参加型プラットフォーム（SNS）について

別紙「資料7」のとおり

市民参加型プラットフォーム（SNS）について

状況報告

- ・公式 SNS アカウントを開設し、令和 7 年 1 月から、X（旧 Twitter）および Instagram での投稿を開始している。
- ・地域公共交通の基本的な紹介は一通り完了し、現在は交通会議に関連するイベント等の情報を中心に投稿しているが、投稿内容のネタ作りに苦慮している。

（2025 年 9 月末時点；X の状況）

フォロワー数	68
ポスト数	36(連続投稿含まず)
インプレッション数 (画面に表示された回数)	2025 年 1～2 月 16,700 回 2025 年 3～4 月 14,800 回 2025 年 5～6 月 4,100 回 2025 年 7～8 月 6,400 回 2025 年 9 月 3,400 回
エンゲージメント率(投稿に対する反 応:投稿に反応したユーザー数÷投稿 を見たユーザー数×100)	2025 年 1～2 月 1.9% 2025 年 3～4 月 1.7% 2025 年 5～6 月 4.2% 2025 年 7～8 月 2.3% 2025 年 9 月 2.4%
相互フォロー	JR 西日本、広島電鉄、JR バス、芸陽 バス、広島バス
協力応募者	1名

（参考）東広島市地域公共交通会議 SNS アカウントの紹介

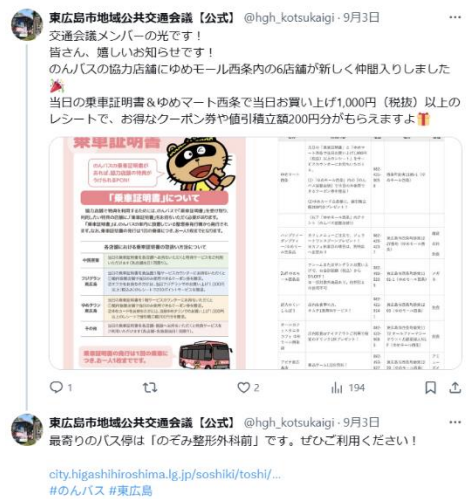


投稿内容及び今後の展開の方向性

東広島市地域公共交通会議公式 SNS では、市民参加型プラットフォームの実現に向け、前回に引き続き情報発信を行い、新たな工夫を加えた。投稿内容の主な方向性は以下のとおりである。

① のんバス沿線の協力店舗での特典等の紹介

- ・「のんバス」紹介に加え、利用者のメリットに特化した情報発信をした。これにより、フォロワーの創出・定着に加えて、バス利用の具体的な動機付けを強化した。今後は、このような定期的なお得情報の発信を通じて、投稿頻度の向上を図り、さらに多くの利用者を獲得していく。



② イベント等の紹介

- ・特に、X (旧 Twitter) において反響が大きかった投稿としては、ヌマジ交通ミュージアムで行われた「モルカーとわくわくクルマワールド2」に関するものが挙げられる。「PUI PUI モルカー」という作品は子どもから大人まで幅広い層に人気があり、「いいね」が集まりやすく、SNS で拡散されやすい。
- ・また、イベントでは東広島市の自動運転バス実証実験の展示もあり、あわせて紹介した結果、ローカル情報ながら閲覧数が比較的多くなった。



③ おでかけスポットの紹介

- ・季節に合わせたおでかけスポットを、公共交通でのアクセス情報とともに紹介した。今後も地域の観光地や自然・風景など、公共交通に乗って行きたいような魅力的な目的地を厳選し、継続的に発信していく。

